

柳井圏域手話奉仕員養成講座
 (入門課程・基礎課程) 受講者募集

聴覚障害者等の生活および福祉制度等への理解と認識を深め、手話で日常会話を行うために必要な技術を習得することを目的に、柳井圏域を構成する1市4町合同で『手話奉仕員養成講座』を開講します。

◆開催日時 (予定)

第1回	7月12日(土)	9:00~16:40
第2回	7月26日(土)	9:30~16:40
第3回	8月9日(土)	9:30~16:40
第4回	8月30日(土)	9:30~15:40
第5回	9月6日(土)	9:30~16:40
第6回	9月20日(土)	9:30~16:40
第7回	9月27日(土)	9:30~15:40
第8回	10月4日(土)	9:30~16:40
第9回	10月11日(土)	9:30~16:40
第10回	10月25日(土)	9:30~16:40
第11回	11月15日(土)	9:30~15:00
第12回	11月29日(土)	9:30~15:00
第13回	12月13日(土)	9:30~14:40

- ※1. 原則として全日程受講していただきます。
 全日程受講者には修了証を交付します。
 2. 詳細な講座内容は、受講決定者に別途お知らせします。

- ◆場所 柳井市文化福祉会館
 ◆定員 25名程度(先着順)
 ◆受講料 無料(ただしテキスト代等実費負担あり)
 ◆募集期間 6月30日(月)まで(定員になり次第終了)
 ◆申し込み・問い合わせ
 福祉課 民生福祉班 ☎0820(77)5505

1 周防大島の文化財



西長寺の大仏

町文化財保護審議会では今月号から隔月で町内の文化財を紹介していきます。第1回目は西長寺の大仏です。

日見・西長寺の大仏堂には国の重要文化財に指定されている阿弥陀如来座像が安置されている。像高284cmは県下最大であり、仮に仏が立った場合には一丈六尺(485cm)になることから丈六の仏ともいわれる。尾州産の檜材を用いた木造寄木造の仏像で、平等院鳳凰堂阿弥陀如来座像などと同じく、平安時代後期に流行した定朝様といわれる様式で造られている。平安時代後期には、釈迦の死後千年を経て仏法が衰えるとされる末法思想が流行し、人々は臨終の際に阿弥陀仏へ迎え取ってもらふ事で極楽往生出来るとする来迎思想を信仰した。

寺伝によれば海中より引き上げられた大仏は金色に輝き日輪のごとくであったとされるが、そうした伝承にも当時流行した海を越えた夕日の方角に極楽が存在するとされる日想観の影響をみることが出来るのではないだろうか。

《町文化財保護審議会委員：中野行真》

耕作を放棄した農地等の管理について

～適正な管理をお願いします～

近年、農業の担い手の減少や高齢化による労働力の減少などにより、耕作放棄地や不作付地などのいわゆる遊休農地が増加し、セイタカアワダチソウや防風林等の雑草木が繁茂した土地が多く見受けられます。

特に、周辺に耕作中の農地や住宅地がある場合は、病害虫の発生・ゴミの不法投棄・交通の妨げなど、農作物や周辺住民の生活に悪影響が及ぶことになり、周辺環境に対する配慮が必要です。

所有者・管理者の方におきましては、周辺農地や住民の方に迷惑が及ばないように、雑草木等の除草・伐採(陰切り)など適正な管理を行っていただきますようお願いいたします。

◆問い合わせ

周防大島町農業委員会(農林課内)
 ☎0820(79)1002